

乗っている浅井康

高知競輪場開設70周年記念「よさこい賞争覇戦」は、4月2日〜5日の日程で開催される。今シリーズのS班は佐藤慎太郎しかいないものの、浅井康太、三谷竜生、渡邊雄太、菅田孝道、吉澤純平ら各地方から自力型の強豪が参戦する好メンバー。地元四国地区は小川真太郎、佐々木豪らに期待がかかる。また、最終日第6レースにてS級ブロックセブンが一発勝負で行われる。こちらも目が離せない。

今年は無念にも8年間維持したS班の座を明け渡した浅井康太だが、最近好調時のようなスピード豊かな脚勢を取り戻している。2月静岡記念では4連勝で今年初Vを達成すると、3月玉野記念は①⑤①着。準決は新山響、佐藤



浅井康太

慎太郎の北日本勢にしてやられたものの3勝を挙げている。更に久々のF1登場となった同月松阪もまくり3連発の完全V。初日、決勝は上がり11秒2の快速を披露した。今の調子なら柔軟な立ち回りから好位キープしてのまくりで優勝をものにしよう。今シリーズただ一人のS班である佐藤は、レース巧者らしく今年も成績をまとめていく。全日本選抜をはじめG3の4開催はすべて決勝に乗っている。3月玉野記念の決勝



掴みとれ!

高知競輪開設70周年記念[GⅢ] よさこい賞争覇戦 2020.4/2.3.4.5.

高知けいりん 電話受付 74社



佐藤慎太郎

は、逃げた新山の番手回りをものにできなかったものの、番手の仕事をきっちりこなしてレース内容は悪くなかった。佐藤が今回頼りにするのは菅田孝道だ。菅田は全日本選抜では①⑨①着と3勝の活躍を演じたものの、3月立川、同月小田原とF1戦の準決で続けて敗退。実績からF1戦では警戒が強まるので、戦法的に致し方ない面はあるが、ただ、1月和歌山記念の準決では鮮やかなまくりで佐藤を振り切っている。Gレースで本領発揮なら北日本ワンツートは十分だろう。攻撃的な自力勝負が売りの三谷竜生も有力な優勝候補の一人だ。全日本選抜では決勝に乗ると、2月奈良記念は地元Vこそ逃がしたものの、二次予選A、準決と2勝している。年頭の1月大宮記念のときと比べると確実に動きは良くなっている。そろそろ今年初Vをゲットしても不思議ではない。自力攻撃の破壊力なら渡邊雄太も見劣りしない。2月静岡記念の準決は上がり11秒4の好タイムで逃げ切つていて、他の自力型を沈黙させた。まくりの威力にも素晴らしい



三谷竜生

ものがある。しかしながら、2月静岡記念の後には2場所続けて病欠している。体調には一抹の不安が残る。同県の岡村潤は相変わらず差し脚好調で、3月久留米G3では初日特選を制している。渡邊が主導権を握るようなら勝ち負けに持ち込める。四国勢浮沈の鍵は小川真太郎、佐々木豪が握っている。小川は全日本選抜では敗者戦ながら2日目に1勝を挙げる。2月向日町、3月平塚で優勝して勝負差を發揮している。佐々木も1月立川記念②③①着と今年年頭から好調で、同月平記念①①⑧①着、2月高松②①①着、3月豊橋①①②着と勝ち星を量産中。好連係を決めれば台風の目と化す可能性も大いにある。パワフルな自力攻撃が魅力の吉澤純平も好勝負が見込める。全日本選抜⑧①⑧①着では二次予選、最終日特選と2勝を挙げると、2月立川の決勝は、堂々と逃げ切つて武田豊と師弟コンビで連独占を決めている。調子は申し分ないので、豪快な一撃には注意したい。

Table with columns for rider names (岩津裕介, 渡邊雄太, 岡村潤, 吉澤純平, 鈴木謙太郎, 菅田孝道, 三谷竜生, 佐藤慎太郎, 浅井康太), their stats, and race results. Includes a '直近12場所成績' section.

Table titled '高知記念 出場予定選手' listing riders, their registration numbers, race dates, and points. Includes a 'S級ブロックセブン' section.

※2020年3月20日現在のデータです。